

## 西播磨県民局産業廃棄物最終処分場専門家会議（第2回）開催報告

西播磨県民局産業廃棄物最終処分場専門家会議（第2回）を次のとおり開催しました。

1 日時 平成26年8月18日（月） 13:30～15:30

2 場所 兵庫県民会館 1101号室

3 出席者

【専門家】 (五十音順)

勝見 武 京都大学大学院教授（廃棄物最終処分場、地盤工学）

清野 純史 京都大学大学院教授（防災工学、地震工学）

先山 徹 兵庫県立大学准教授（地質学）

東海 明宏 大阪大学大学院教授（環境リスク評価）

野邑 奉弘 大阪市立大学大学院名誉教授（熱工学、エネルギー）

【西播磨県民局】

谷渕 勝 西播磨県民局県民交流室長

四方 俊郎 西播磨県民局県民交流室環境参事

4 議事要旨

(1) 開会

西播磨県民局県民交流室長から、第2回専門家会議開催趣旨の説明を行った。

(2) 議題

①産業廃棄物最終処分場の課題について

西播磨県民局から資料1「産業廃棄物最終処分場構造基準・事業計画対比表」に基づき、最終処分場の構造基準と今回赤穂市福浦の採石場跡地に設置が計画されている産業廃棄物管理型最終処分場の事業計画について説明を行った。専門家からは、

ア 事業計画が廃棄物処理法で定める個々の構造基準に適合しているかどうか確認を行うだけではなく、計画全体として課題がないかどうか検討を進めていく必要がある。

イ 今回計画されている最終処分場は山間部での埋立でもなく海面埋立でもない、海が近くにある採石場跡地の埋立である点に特徴がある。設置場所を考慮して課題の検討を進めていく必要がある。

ウ このような特徴を有する最終処分場の設置事例や稼働状況など必要な調査を行い、検討を進める必要がある。

と意見があった。

このため、全国の事例など必要な調査を行うとともに、各専門家と個別のヒアリングを進め、さらに必要に応じて現地調査、また、他の処分場への視察や調査を行うこととされた。

②その他

第3回の専門家会議は11月を目途に開催し、さらに課題を明確にしていくこととされた。